

立命館経済學

第66卷 第3号

2017年9月

内 容

論 説

商業資本と超過利潤……………杉野 園 明 1

日韓国交正常化（1965年）と主要紙社説……………梶 居 佳 広 20

研究ノート

華北農村における土地改革の実施単位について……………中 井 明 48
——行政村単位の実施状況の再検討（1946～1949年）——

資 料

『揚子江』記事総目録（4）……………金 丸 裕 一 起 71
乾

翻 訳

よこしまな女（開幕劇）……………辻 井 榮 滋 82

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第66巻・第1号

論 説

ひとり親家庭等の在宅就業支援事業の終了後の実態……………高野 剛	1
——NPO 法人を設立した事例——	
東北アジア各国対 GTI の開発戦略……………金 向 東	25
——その成功の鍵「一帯一路」——	

資 料

『揚子江』記事総目録 (3)……………金丸 裕 一 起	42
	乾 暢

翻 訳

アヘン戦争で中国が海防に失敗した原因……………細見 和 弘	66
2016年度学位論文審査報告……………	82
DIAO Chenglin	
『南京国民政府における国産振興策とその展開 (1928-1937年)	
——上海地区を中心に——』……………	82
小田巻友子	
『コ・プロダクション論の展開——スウェーデンの親協同組合就学前学校と	
日本の医療福祉生活協同組合の事例を中心に——』……………	86
KWON Haejin	
『QOL の観点に基づいた障害者雇用促進制度・政策評価指標・尺度の	
開発に関する研究——日本と韓国を中心に——』……………	88
2016年度博士課程前期課程 (修士) 論文名一覧……………	90

発行者 立命館大学経済学会

立命館経済学 第66巻・第2号

論 説

海外援助が民主主義の維持に与える影響……………青木 芳 将	1
——資源の呪いからの脱却可能性について——	

人間の自由と社会的意識形態としての自由主義(3)……………角 田 修 一	16
——ホッブズからマルクスへ(3)J・S・ミルとマルクスの自由論——	

資本主義に対するオルタナティブを提示する連帯経済の可能性	
……………ファハルド・ロハス, ミゲル・アルトゥーロ	47
——コロンビアの経験からの一考察——	

研究ノート

オーストリア学派型蓄積モデルとマルクス=置塩モデルとの	
関係について……………西 淳	65

翻 訳

西洋海軍の挑戦と中国海軍改革の遅れ……………細見 和 弘	77
------------------------------	----

発行者 立命館大学経済学会